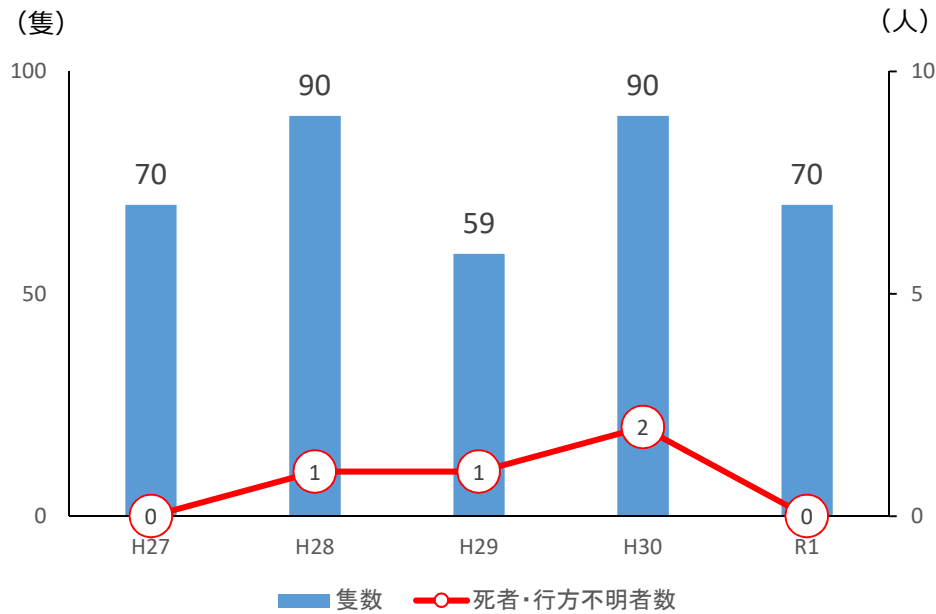
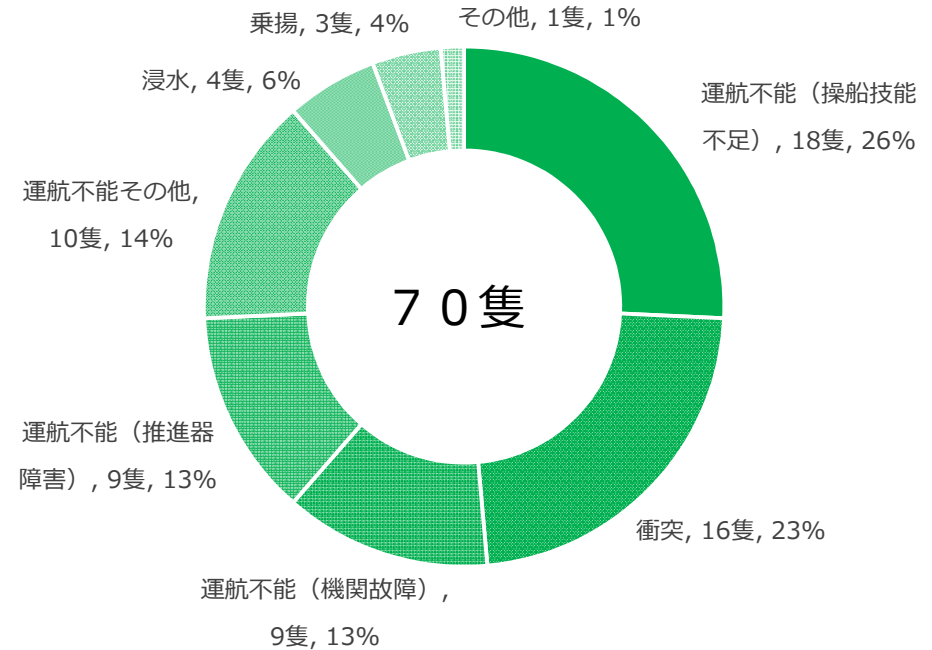


船舶海難隻数の推移



※H30年の海難隻数のうち13隻は台風21号の影響によるもの

海難種類別発生状況



主な事故事例

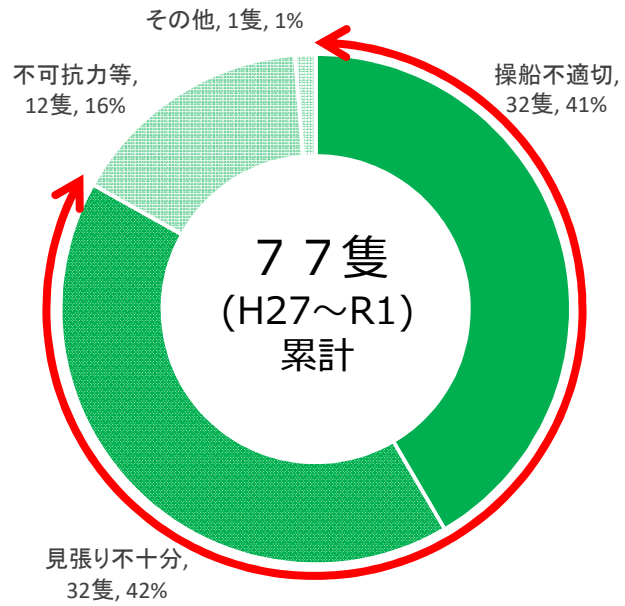
事例 1 衝突

8月4日、事故船舶A（1名乗組み）は、事故船舶B（2名乗組み）と遊走していたところ、前方を航行していたBが転舵したことで両船が急接近し、Aの後部に乗り揚がる状態でBが衝突し、A操船者が打撲を、Bの後部乗船者が肋骨骨折等を負ったもの。

事例 2 運航不能(操船技能不足)

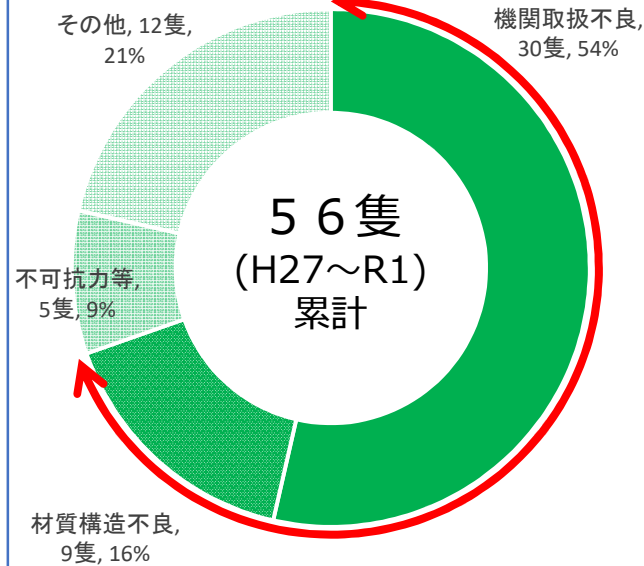
8月14日、事故船舶（1名乗組み）は、出発地に戻ろうと航行中、うねりによる船体動揺でバランスを崩して海中転落し、その後船体が風浪に流されて再乗船できなくなったもの。

衝突 原因別発生状況



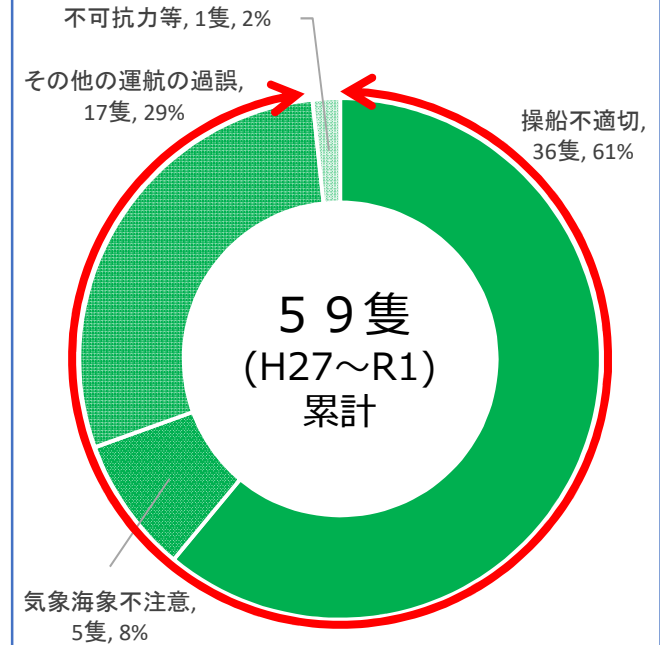
人為的要因 83%

運航不能（機関故障）原因別発生状況



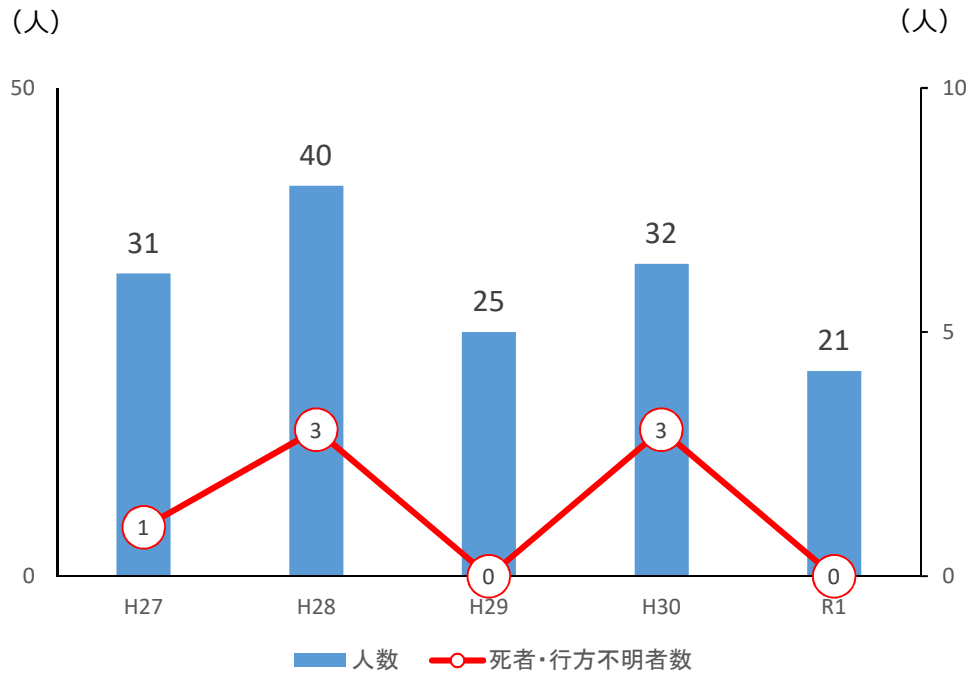
人為的要因 70%

運航不能（操船技能不足）原因別発生状況

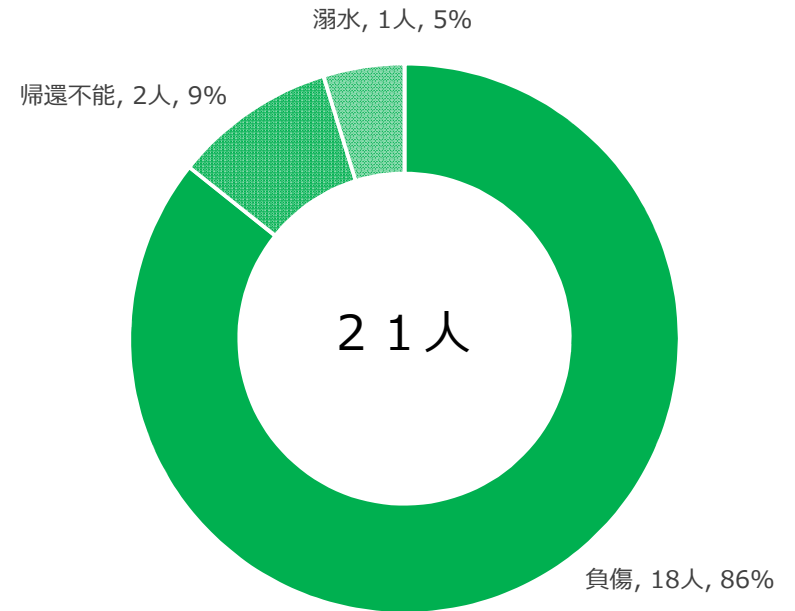


人為的要因 99%

人身海難者数の推移



事故内容別発生状況



主な事故事例

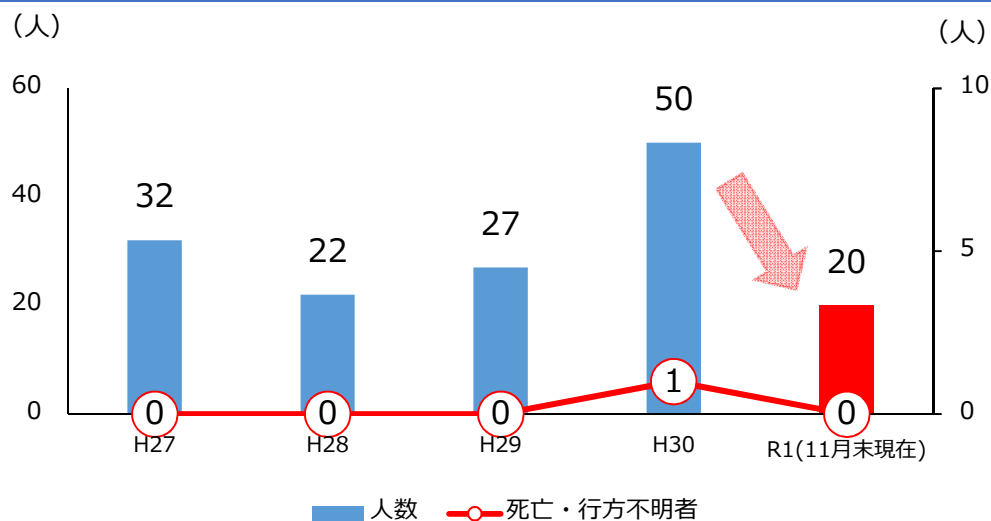
事例1 負傷

8月4日、事故者は水上オートバイの後部に乗船しており、操船者が遊走しようとして速度を上げたところ、海中転落して臀部付近からの出血を負ったもの。

事例2 負傷

9月12日、事故者A、Bの2名が水上オートバイに乗組み、Aの操船で遊走中、増速した際に艇が大きく宙に浮き、着水した衝撃で両名が負傷したもの。Aは腰椎骨折により全治2ヶ月の診断を受け、Bは右腕の打撲。

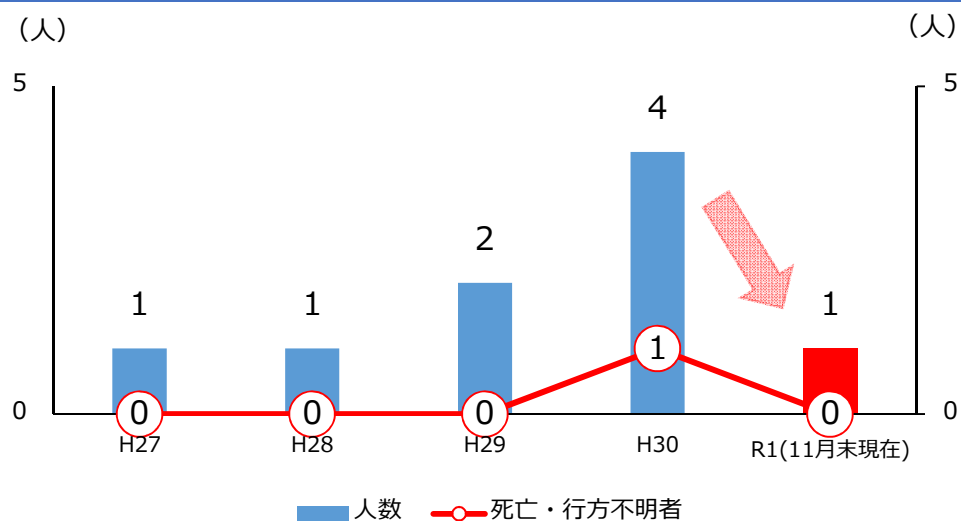
トーイング遊具に関する人身海難者数の推移



事例 負傷

9月8日、事故者は同乗者と2人でトーイング遊具に乗り曳航されていたところ、水上オートバイが右旋回した際に停泊中の水上オートバイに衝突し、負傷したものの。診察の結果、左足大腿骨骨折により入院加療2週間と診断された。

ハイドロライトデバイスに関する人身海難者数の推移



事例 負傷

11月10日、友人25名とフライボード中、宙返りを実施した際、バランスを崩し、高さ10mから水面に落下したものの。外傷は無かったものの、不整脈が見られ、入院加療となった。事故者は大会に出場するなど経験は豊富であった。

昨年の事故発生状況を踏まえた海上保安庁の取組み

